

日中友好新聞

府連通信

2011年6月号
日本中国友好協会
大阪府連合会
〒530-0013
大阪市北区
茶屋町10-6
阪急北ビル4階
TEL06-6372-8131
050-3413-6491
FAX06-6372-8132
郵便振替口座
00970-5-8978
E-mail: jcf@j
t8.so-net.ne.jp
ホームページ
http://www005.u
pp.so-net.ne.jp
/jcfasaka/

大震災をのりこえ大会開く

東北三県や全国から二二三名が集

日本中国友好協会は六月四、五日、全国から二二三名が参加して、愛知県豊橋市で第六〇回戦のとりくみ、中国との交流・全国大会を開きました。中国領旅行、太極拳・中国語・きりえ事や日朝協会、日本共産党が来賓としてお祝いのあいさつをたくさんできました。

友好の機運を大きく

災被災者への支援と、宮城・岩手・福島協会の組織と連帯を強め、日中友好運動を積極的にすすめることになりました。

日中両国民の相互理解と信頼関係増進と日本と中国、アジアと世界の平和をめざす発言もあり、協会の役割と重要性がいよ



中国領事・王軍さんの来賓あいさつ



いよ増してきています。

今年には柳条湖事件八〇周年、中国からの引揚げ六五周年、多彩な活動を展開して友好の輪を大きく広げ、なまぐりと国表彰されました。

いろいろな感想が寄せられました。

全大阪きりえ美術展 力作ぞろいの一〇〇点を展示

第三四回全大阪きりえ美術展は、五月二〇〜二五日エルおおさかギャラリーで開催しました。出品者は九八名で、七〇〇名の出品者が来場されました。

近くの方が来場されました。アンケートの中には「きりえでも色々ちがったイメージになるのにおどろきました」「絵画的な作品が多く、テクニック



来年の三五回展を記念して、画集「大阪のきりえVI」の出版準備にとりかかっています。

(近藤)

中国電影世界・鑑賞

六月二五日(土)五時四十分
「千年の祈り」

大阪府連合会の文化行事です。

民に大きな影響力のある日中友好運動を広げ、二万人の協会組織をめざします。

大阪から十名が参加し、分散会で討論に参加しました。機関紙コンクールでは府連通信が優秀賞に、特別賞に大阪西支部ニュースが入賞しました。

きりえコンクールの入賞発表も行われ、五〇年会員表彰で大阪府連から、上垣真木子さんと稲田雪男さんが、三〇年会員には七名、二〇年会員には三名がそれぞれ表彰されました。夜の祝賀会で稲田さんが五〇年会員表彰されました。

大阪府連大会を開催します

7月10日・午後2時から(受付午後1:30~)

此花会館(JR・阪神電鉄・西九条駅下車)

各支部からの参加をお待ちしています。

終了後・同会館で懇親会を開きます

懇親会会費: 4000円 要予約

連絡先: 大阪府連06-6372-8131

2011平和のための戦争展

8/18(木)~20(土) 10:00~19:00

最終日は10:00~16:00

展示会場: 日中文化センター(梅田茶屋町阪急北ビル)

特別展示『日中十五年戦争』

柳条湖事件80年、日中アヘン戦争など

戦争資料や戦時品の展示も行います

大阪の参加者から、大会の感想

大会初の参加です

東大阪支部 廣原資泰

日中不再戦、友好平和の運動が六〇年もの長きに渡り、脈々と継続・発展している姿を目の当たりにして感無量です。勇気と希望と力が湧いてきました。

「日中友好運動のあゆみ」を購読し、学習したいと思います。中国からの帰国者支援、中国人研修生・実習生の待遇改善、在日中国人との交流、文化活動など出来ることから着実に実行し、日中友好運動のさらなる発展を遂げたいと思います。

きりえひとすじ五〇年

西支部 稲田雪男

六一年に入会後まもなく中国の文化大革命があり、以後、協会はきりえ・太極拳等文化活動に積極的にとりくみ、中国の剪紙を紹介したり、きりえコンクールを始めました。

に行きました。それ以後ずっときりえが生活の一部になり、西支部や兵庫県連、西宮支部のきりえ講習会にも参加してまいりました。

絵画に関係なかった私が支部の任務で、故加藤義明さんのきりえ講習会に習いました。

左眼の調子が悪くなりましたが、これからの要請があれば年賀状・干支色紙講習会などを続けてゆきたいと思っています。

府連大会の成功を

会長 渡辺 武

東日本大震災と福島原発大事故の重圧が、日本中を覆いつづける中で開かれた今年の豊橋大会は、やはりなんともいえない気の重い大会でした。二日間、本部役員席に黙って座り続けながら、日中そのものが宮城、福島、

の波及に思いをめぐらし、あわせて、もうひとつ意気上がらぬ関西府県連その他の発言に反映している厳しい現状にも気の引き締まる思いがしました。ことに、この大阪。七月の府連大会を少しでも明るい展望と結び付けられないものか、と。



稲田さん、祝賀会で50年会員表彰

岩手などでこうむった打撃の大きさと、全国へ

市民の目線で交流活動を

理事長・片山英徳

大会の財政小委員会に出席して、二万人組織づくりが財政強化や文化、交流事業活動の成功のためにも重要であると確認しました。

日中の経済的結びつきが強まっ

ています。協会は私たち一人一人が会費を払って成り立つ組織です。どんな激震が起ころうと政府がどうであれ、両国人民の友好は変わらないという一点を大切にして、市民の目線で交流活動を発展させたいと思います。

マスコミ・行政との連携を

西支部・平松悦雄

実質二度目の参加でした、全国からの元気な仲間の姿を見ることが出来たこと、また東日本大震災で大きな被害を受けながらも、一歩ずつ歩んでいる報告はうれしかったです。全体的には消化不良に終わりました。

組織活動五原則を訴えているのですから、その観点からの発言を企画、演出してでもいれてほしかったと思います。昨年・今

大きな行事の成功はやはりマスコミをつかむことと、行政の応援が必要であることは認識できました。



大阪代表のみなさん

年と少ない人ですが接触して、お話を聞くと、同じような悩みをかかえながら運営されている感じがしましたので、経験話が出来、不出来にかかわらず貴重なものだと考えます。

それにしても右翼への活動資金はどこから出ているのでしょうか。

今や中国と付き合いを無くせば、日本は立ち行かない事を、財界や右翼はよく理解しているはずなのに、それでもなぜ・

手作りの中華料理を堪能

なんば太極拳教室有志は五月二十九日、神戸市内の黄さん宅で恒例の食事をしました。

当日は相楽園見学と北野異人館街散策の予定が、台風来襲で中止となり、食事会だけとなりましたが、予定の十七名全員が参加しました。



黄さん宅の食事会

台風が来ているのも忘れて、楽しい時間を過ごしました。

食事会は六時間にもわたる、夕刻、台風で傘を壊されながら帰途につきました。

(徳道)